

令和 6 年 1 月 教育委員会臨時会 会議録

開催日時	令和 6 年 1 月 24 日（水）午後 1 時 30 分から		
開催場所	田原本町役場 301 会議室		
出席者	教育委員会 （教育長）山田忠志 （教育長職務代理者）眞田和則 （委員） 岡本春江 榊井歌世 山田育弘 事務局 森教育部長 森川教育総務課長 安倍教育総務課付課長 金澤教育総務課指導主事 原田教育総務課指導主事 奥谷教育総務課長補佐		
欠席者	なし		
開催形態	公開	傍聴者	なし
次第	議 第 17 号 田原本町立幼稚園における学級編制の協議について		可決

議事の内容

教育長

ただいまから、1 月の教育委員会臨時会を開会いたします。

本日は、委員会 5 名のうち全員の委員に御出席いただいています。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 14 条の会議の開催要件である過半数の出席がありますので、会議が成立することを宣言します。

○議 第 17 号 田原本町立幼稚園における学級編制の協議について

教育長

それでは、「議 第 17 号 田原本町立幼稚園における学級編制の協議について」事務局に説明を求めます。

(事務局説明)

教育長

ありがとうございました。この件につきまして、ご意見ご質問等がありましたらお願いします。

眞田委員

学級編制の基準がこれまでになかったとのことですが、これは田原本町になかったということですか、それとも全国的な基準がなかったということですか。

教育総務課長

文科省の基準に 35 人以下というものはあるのですが、田原本町においては明確な基準がなかったということです。町内では 10 年以上、年少 20 人、年中年長 30 人で 1 クラスという学級編制をおこなってきました。

眞田委員

今まではその基準でいけたのが、今回初めて園児が少ない北幼稚園のようなケースが出てきたということですか。これまではなかったのですか。

教育総務課長

以前、東幼稚園で園児が少なかった時に、保護者にその状況を説明させていただいて、園児数の多い他園に通うことを選ばれたということがありました。この時には明確な基準はありませんでした。

岡本委員

今、東幼稚園校区の子が北幼稚園に通っているように、今回は、北幼稚園の子が田原本幼稚園など他園に通ってよいとされるのですか。

教育総務課長

現在も、認定こども園である田原本幼稚園と平野幼稚園については、1号認定であってもどこの校区であっても通うことができます。おそらく、北幼稚園でしたら田原本幼稚園を選ばれる方が多いと思います。

榊井委員

要するに、これまで基準はなかったので、このメンバーで決めていきましょう、ということですね。そのなかで例えばスクールバスや送迎なども決めていくということですか。

教育総務課長

まずは、どういう編成基準とするのかを検討するものでして、そのために何が必要かも検討していきたいと考えています。

教育長

まずは、今ない基準を設ける、そのための会議を開きたいということです。

教育総務課長

幼稚園の教員不足もありまして、各学年1人の担任配置をどうするか、という問題もあります。しかし、検討する場においては、子どもの学びの場としてどうなのかを中心に基準を検討したいと考えております。

山田委員

小学校の学級人数においても、文科省の基準があって、そこに町の基準があるという形ですか。

教育総務課長

小学校の方は、国の基準をもとに県が配置基準を設けています。田原本町においては、1年生30人学級という上乗せした施策を行っています。

眞田委員

検討メンバーは部長、課長、指導主事、幼稚園園長で問題ないかと思いますが、園長というのは代表1人でしょうか。

教育総務課長

各幼稚園4人の園長を考えています。

これまでの学校・幼稚園規模適正化検討委員会などでは、保護者や地域の方といった外部委員を入れておりました。本件については、平成29年1月にこの委員会からいただいた「田原本町学校・幼稚園の規模及び配置の適正化に関する考え方について（答申）」をもとに教育的な面に重きを置いて検討することが適切ではないかと考え、お諮りしたものです。

また、検討した結果は、学校運営規則の改正として教育委員会でご審議いただきます。

眞田委員

今回は保護者等、外部の方を入れるものではないと思います。このメンバーでしっかり

議論をして、基準を作ってもらったらいと思います。

教育部長

補足です。北幼稚園の来年度の年少は3人ということですが、校区内の対象は例年とほぼ同人数おられました。しかし、保護者の方も北幼稚園で同年代が少ないこともご存じで、多くの保護者は人数の多い田原本幼稚園を学びの場として選ばれ申し込まれたようです。北幼稚園を選ばれた3人の方は、少ない園児数の中で手厚くみてもらえることを期待しておられるようです。こういった実情から今後も北幼稚園園児が減っていく可能性が高くなっている中で、今回の学級編制基準をしっかりと考えたいと思います。

岡本委員

既に人数は判明している状況で基準を決めるとして、いつから基準に則った編制を行うのですか。

教育総務課長

本来であれば入園申込前に保護者への説明がある方が良いと思いますので、望ましいのは再来年度の令和7年度からです。ただし、来年度の保護者への説明でご理解が得られれば、今春からとなる可能性もあります。

岡本委員

手厚い保育を期待されている保護者に田原本幼稚園を勧めても、混乱されないでしょうか。

教育総務課長

他園への移動ではなく、まずは複式学級の説明となります。

北幼稚園で年少年中の複式学級となると、年少3人に年中6人を加えて9人となります。年長園児は少し多くいます。

眞田委員

クラス人数が増えるのはいいとしても、そもそも複式学級ということに対し、手厚い保育を望んでおられる方が不安不満を思われなかが心配です。よくよく説明してください。申込前に説明があったら別ですが、ご理解が得られないままの複式の強行はできません。

岡田委員

複式学級になったら、教員不足が解消するのでしょうか。

教育総務課長

そうでもありません。今回1人幼稚園教諭を採用しましたが、来年度田原本幼稚園の年少が1クラス増えることや、辞められる会計年度任用職員もおられ、不足状態は続くことになります。

教育部長

今も会計年度任用職員の募集をかけたり給与など上げたりしているのですが、全然応募がありません。幼稚園教諭の不足は全国的な問題です。

榊井委員

保護者の気持ちと、行政側、園側、それぞれに考えがあると思います。

年少・年中でも1年の差はこの年代では大きい。ただ、3人の手厚い状態が本当に子どもにとっていいものなのか、少人数ではできない大人数の中で育まれることもあります。いろんな思いがあり、今の時期ですので、保護者の方もずっと受け入れてもらえるか難し

いところだと思います。

いずれにせよ、今後のこともありますので基準を作ることは大事です。会議は専門的な視点で教育的側面を中心に議論すべき内容だと思いますので、私はまずこの体制で基準を決めて、進めてもらいたいと思います。

教育長

いろんな方面からのご意見ありがとうございました。他、ありませんか。

それでは採決に移ります。議第17号について賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手する者あり)

教育長

全員賛成と認め、本議案を可決いたします。

○その他

教育長

その他に移ります。まずは委員の皆様から何かありますか。

眞田委員

今、幼稚園のことでもありましたが、これからまた小中学校の人事案件も出てきます。全国的に先生が募集してもなかなか応募がありません。先生に限らず一般の業種でもそうで、これから世の中全体が人手不足です。新聞報道で、これから人口は8割程度になっていくようで、その流れは止められないときいています。その社会変化を前提にいろいろと考えて舵取りをしていかねばなりません。

教育長

ありがとうございました。他、ありませんか。

事務局からの連絡事項をお願いします。

(令和6年度教育委員会定例会の開催日の予定について、事務局説明)

(田原本町内小学校の『総合的な学習』展示会について、事務局説明)

教育長

以上で議事は終了しました。

これをもちまして1月の教育委員会臨時会を終了いたします。ありがとうございました。

午後1時54分 閉会

田原本町教育委員会

教育長 山田 忠志